

# 生活創造空間

# にし

NISHI



顔の見える関係の、その先へ

～西区地域自立支援協議会のこれから～

西区地域自立支援協議会がスタートして4年と5カ月が経ちました。

この生活創造空間にし広報誌でも、度々トピックスとしてその時々情報を発信させていただいておりますが、今回は西区地域自立支援協議会の表も裏も、その魅力についてお伝えさせていただきます！

～アンラシネを目指します～

第18号 2013年12月10日発行



まずは「顔の見える関係づくり」を旗印にスタートした西区地域自立支援協議会。「いやあ、まだまだ。」とおっしゃる方もいるかもしれませんが、地域自立支援協議会が出来て様々な連携が芽生えてきていると実感しています。製品販売委員会は西区役所を始めとする地域での販売会を西区内にある作業所、施設の連携の場です。今ではみなとみらいにある日揮株式会社、富士ゼロックス等の企業での販売も始まっています。パン、クッキー、お弁当と福祉施設の商品ではなく、「味」で勝負させていただいております。

公園清掃委員会では作業所、施設が協力し合って紅葉坂近くにある掃部山公園の景観を保っています。年に数回、花植えの企画にも参加させていただき、近隣小学校ともつながり始めています。その他、余暇支援部会・個別支援会議・防災会議など、西区地域自立支援協議会に参加している西区内の33団体が各部会・委員会・会議を通して「顔の見える関係」が出来上がりつつあります。

この地域自立支援協議会の屋台骨を支えているのが、事務局会議（通称：コア会議）であります。以前、西区地域自立支援協議会について語らせていただいた際にも書きましたが、このコア会議は、「本音で言い合える場、何でも相談しあえる場。」という位置は何ら変わってはいません。ただ、年数が経てくると、考えなければいけないことは増えていくばかりです。

昨年度より地域自立支援協議会としてシンポジウムを始めましたし、前号でも書きましたが、西区スタイルカレッジという西区の各事業所で働く職員の育成・共に育ち合う場を立ち上げたり…。思いつくがままに突っ走って来ましたが、走るだけでなく、ペース配分等も考えないといけない時期に来たのかもしれませんが。

それでも、「あっ、これは地域自立支援協議会に相談してみんなで何か取り組めないか?」「これは地域自立支援協議会でしょ!」、などと日頃から考えられる頭になってきているのも事実で

あり、このような柔軟な頭のままに、今、自分たちに出来ることから整理して取り組んでいきたい。ペースは少し緩やかになっても、常に前へは進みたいものです。

『顔の見える関係』というのはただ相手の顔が見えればいいものではなく、その相手の顔の表情までが見える関係が本当の顔の見える関係」、とある作業所の所長さんが言っていました。自分もそう思います。顔の表情が見えるというのは、他事業所の職員が今、どんなことに悩み、喜び、挑んでいるのか。そして一緒に悩んだり、喜んだり、挑んだりできる関係…。そうは言っても、「自分は今の仕事で精一杯、他の人の事なんて考えてられない！」という人も少なくないでしょう。地域自立支援協議会は、法人や障がい種別・年齢を超えた、つながり・助け合いであります。大変なことはお互いに吐き出し合いながら、一緒にみんなで悩みませんか？

何のために自立支援協議会を行っていくのか？事業所同士が顔の見える関係を創ることの本当の意味とは何か？障がい当事者の方、そのご家族、そして誰もが住みやすい地域を創るためなんだと思います。

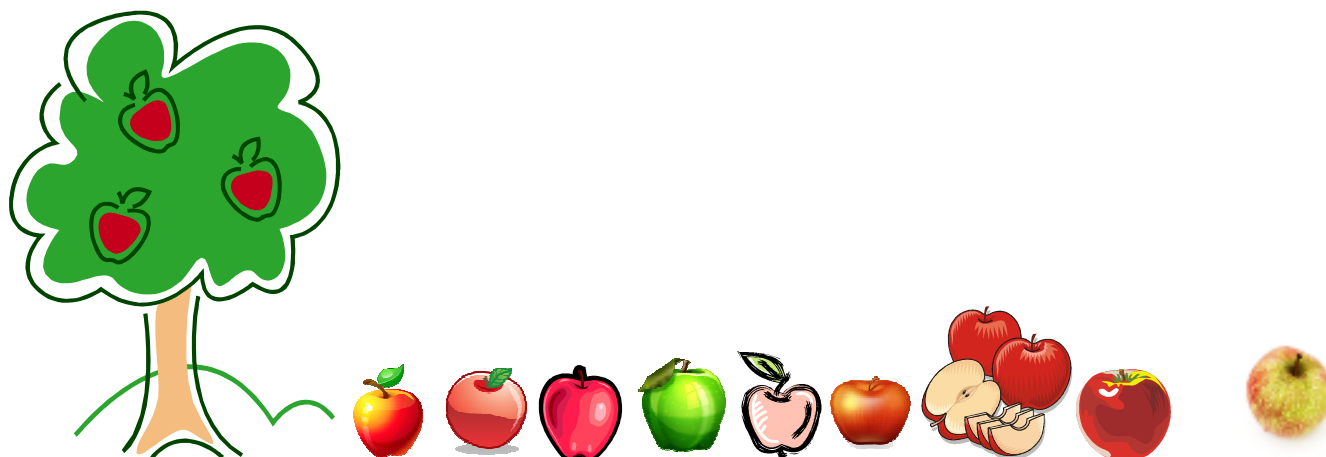
今、第一歩を踏み出して、次の二歩目をどう踏み出そうかという時期に来ています。10年後、20年後には何歩、前に踏み出せているのでしょうか…？



西区地域自立支援協議会では、地域作業所に委託して、ホームページを作成しています。手作りのあったかさいっぱいのホームページです。まだまだ見にくい部分もあり、今、ホームページ委員会のみんなでリニューアル検討中です。

是非、皆さんにも見ていただき、様々なご意見ください。よろしくお願いいたします！！

西区地域自立支援協議会ホームページ URL : <http://www.249style.org/>



## ガッツ・相談が動く！！

開所から考えていたことが平成26年2月に実現します。相談機能がガッツから外に出て行きます。場所は戸部公園そばに。役所も近いので様々な関連機関の人たちにも気軽に寄って頂きたいし、また寄れるような「場」にしていこうと。「今」あれこれと考えている所です。もちろんガッツにも相談機能は残りますがもっともっと西区の「相談」を気軽に身軽に受け止めていこうとの思いでもあります。相談といってもいくつかの事業でなりたっています。横浜市相談システムと勝手に名付けていますが①委託相談②自立生活アシスタント③後見的支援事業（これは平成25年3月から西区において新しく始めるものです。）これに国事業の計画相談というものが加わります。相談支援・横浜相談と云いながらいくつもの形がでてきていますが……。これでいいのか。今のままでいいのか。大いに疑問をもつ所でもあります。どんなふうに「新しい場所」でどんな「新しい相談」が出来るかどうか。そんなことを考えながら「事業を超えあって」少しでも進んでいけたらと考えています。

まだ新しい事業所の名前が決まっていますが。西区相談の新しい拠点を目指して職員一同頑張っていきます。そんな様子をふらっとのぞきにきて下さい。

これからもガッツ同様よろしくお願いします。

（新規相談室 担当 渡辺）

## 屋上広場「檸檬～れもん～」

地域の方にも開かれた憩いの場となるように、れもんの木を中心に色鮮やかな屋上広場から始めました。また、ガッツ・びーと西では、ブロッコリーや春キャベツ、エヌ・クラブでは、ナバナや二十日大根、ミニキャロット、豆類などを育て始めています。が、花々やと一緒に、緑鮮やかな草たち、いわゆる雑草といわれる者たちも一緒にすくすくと育っています。

雑草をとり、耕すことから始め、ようやく植えましたが、しばらくするとまた草原に変わっています。雑草の生命力の強さを改めて感じています。

そんな状況もありながら、来年度からは地域の方に菜園スペースとして貸し出しを行うことになっていますので、植栽の手入れと合わせて、雑草の除去にも力を入れなければいけないと考えているところです。

今後、地域の方々のご協力もいただきながら、屋上広場「檸檬～れもん～」を盛り立てていきたいと思えます。ご興味のある方がいらっしゃいましたら、ご連絡をいただければうれしいです。

（屋上担当：ガッツ・びーと西 森・エヌ・クラブ 松本）



## ♪～「生活創造空間にし」では音楽が流れます～♪

ステーション邂逅 Vol.12 開催されました！！

2013年11月28日(木)18:00～

VOCAL 潮田 りえさん(うしおだ りえ) PIANO 菊地 雅之さん(きくちまさゆき)

おふたりによる「ステーション邂逅 Vol.12」が行われ、JAZZ や日本の歌をたっぷり歌って演奏して頂きました。ちょっとムーディーで大人の雰囲気！大人の歌とやさしいピアノの音色でウツトリ気分♡となりました～。



### 腹黒日記～黒々なるままに～

☆腹黒日記 単行本化？☆

先日、ある熱狂的な腹黒日記読者の方から、新幹線の車中で「ご自由にお持ち帰りください」とされている雑誌『トランヴェール』をいただいた。巻頭エッセイで連続コラムをもつ作家の方(ご本人に承諾を得ていないのでこれ以上は書けない)と私の文質が似ている、同一人物では？とのこと。恐縮しながらも、その作家の方の文章を拝見すると、とても面白いし、確かに似ている。どういう所が似ているかというと、他人にとってはどうしてもよい話をあたかも重大なごとのように捲し立てる所だ。

もともと腹黒日記とは広報誌の巻末、編集後記を想定して開始した。時々、書きたい内容が降りて来ず、締切に追われる時には、「先日、原宿でクレープを食べました、ぱりうま。」など、ちっともおもしろくもない編集後記を書いたらどんなに楽だろうと感じることもある。それでも、これまで丸4年、18回に渡る連載は一部の熱狂的なファンを生み、その期待はひしひしと感じている。

来年からは、この広報誌を読む際は、今年の流行語通り、お・も・て・な・しにして、裏巻頭エッセイ「腹黒日記」から読むことをお勧めしたい。また、新幹線に乗られる際は無料雑誌の巻頭エッセイは腹黒日記の作者ではないかと夢想しながら旅を楽しむのもまた一興だろう。こうなってくると単行本化も夢ではない。(腹ぐろーる)

生活創造空間にし URL : <http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活 創造 空間 にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町 14-40

☎ 045-250-6506 (ガッツ・ビーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)